

明治ニッポンの天才陶芸家
没後一〇〇年

宮川香山



《高取箱高浮彫蟹花瓶》
大正5年(1916)
田邊哲人コレクション
(神奈川県立歴史博物館寄託)



《高浮彫牡丹=眠猫覚醒蓋付水指》
明治時代前期(19世紀後期)
田邊哲人コレクション
(神奈川県立歴史博物館寄託)



《箱下彩白鷺鶏団大花瓶》
明治時代中期～後期
(19世紀後期～20世紀初期)
田邊哲人コレクション

平成28年

10月1日 土 ~ 11月27日 日

- ◇開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
初日は午前11時開館
- ◇休館日 10月11日(火)、11月8日(火)
- ◇入館料 一般：700円(560円：20名以上の団体)
高大生：300円(240円：20名以上の団体)
中学生以下、妊婦、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料
- ◇主催 瀬戸市美術館、公益財団法人瀬戸市文化振興財団
NHK名古屋放送局、NHKプラネット中部、中日新聞社
- ◇協力 神奈川県立歴史博物館
- ◇協賛 日本写真印刷
- ◇制作協力 NHKプロモーション

瀬戸市美術館
Seto City Art Museum

T 489-0884 愛知県瀬戸市西浜町113-3
TEL 0561-84-1093 / FAX 0561-85-0415
E-mail art@city.seto.lg.jp
URL <http://www.seto-cul.jp/>

MIYAGAWA KOZAN

宮川 香山

没後一〇〇年
明治ニッポンの天才陶芸家
MIYAGAWA KOZAN
RETROSPECTIVE

初代宮川香山(1842~1916)は世界に冠たる陶芸の名手です。明治3年(1870)に京都から横浜へ移り、後に海外で「マクスウェア」と称され高い評価を受けることとなる「眞葛焼」の制作を始めました。そして、陶器の表面を写実的な浮彫りや造形物で装飾する技法である「高浮彫」を生み出します。まさに超絶技巧の限りを尽くした香山の「眞葛焼」は、瞬間に欧米諸国で絶賛を浴び、万国博覧会や内国勲業博覧会で受賞を重ねました。

また、明治10年代半ば頃から香山は「高浮彫」の他にも釉薬の研究を行い、新たに「釉下彩」などの作品を次々と発表し、欧米に更なる「明治日本の力」を知らしめました。こうした功績が評価され、香山は明治29年(1896)に、陶芸の分野で二人目となる帝室技藝員に任命されました。

本展では、約50年にわたり宮川香山の作品を世界中から探し出し、研究を続けてこられた田邊哲人氏の、質・量ともに国内随一を誇る貴重なコレクションによって、香山の「眞葛焼」の全貌に迫ります。リアルな表現に思わず息を呑む「高浮彫」作品、鮮やかな色彩を持つ優美な「釉下彩」や青磁の作品をご覧ください。

第1章 京都、虫明そして横浜へ

《彩色高浮彫瓶罎=轎牛瓶形花瓶》
明治時代初期(19世紀後期)
田邊哲人コレクション



《伊賀手高浮彫春日香合》
明治元年~2年(1868~1869)頃
田邊哲人コレクション

【関連企画】

講演会「眞葛香山一没後100年に際して」

講師：眞葛香山研究家 田邊哲人氏
日時：10月10日(月・祝) 午後1時30分~
場所：瀬戸市文化センター文化交流館22会議室
定員：80名(定員を超えた場合は入場をお断りすることもあります。)
※事前申し込み不要、参加費無料

講演会「明治の輸出陶磁と宮川香山」

講師：瀬戸市美術館館長 服部文孝
日時：10月1日(土) 午後1時30分~
場所：瀬戸市文化センター文化交流館22会議室
定員：80名(定員を超えた場合は入場をお断りすることもあります。)
※事前申し込み不要、参加費無料

「ギャラリートーク」

(当館学芸員による作品解説)
日時：10月22日(土) 午後1時30分~
10月30日(日) 午後1時30分~
場所：瀬戸市美術館展示室
※事前申し込み不要、要入館料

【近隣施設情報】

愛知県陶磁美術館 TEL 0561-84-7474

企画展「人が大地と出会うとき」

9月10日(土)~10月23日(日)

企画展「くらしをうつす-郷土の土人形展」

11月3日(木・祝)~12月4日(日)

瀬戸蔵ミュージアム TEL 0561-97-1190

企画展「セトノベルティの魅力~ノベルティあらかると~」

9月17日(土)~11月13日(日)

企画展「織豊期の瀬戸・美濃焼」(仮称)

11月19日(土)~1月29日(日)

瀬戸市新世紀工芸館 TEL 0561-97-1001

日本招き猫大賞作家展 松風直美「ねこばけ」

9月24日(土)~10月2日(日)

企画展「アーティスト・イン・レジデンス展」

10月8日(土)~11月27日(日)

瀬戸染付工芸館 TEL 0561-89-6001

企画展「海を渡った瀬戸染付-里帰り品を中心に」

9月28日(水)~12月26日(月)

【次回展覧会情報】

瀬戸市美術館企画展「栗本雅子人形展」

12月3日(土)~1月29日(日)

第2章 高浮彫の世界

《高浮彫大鷲雀捕獲花瓶(一対)》
明治時代前期(19世紀後期)
田邊哲人コレクション



《高浮彫葡萄=団扇花瓶》
明治時代前期(19世紀後期)
田邊哲人コレクション



《高浮彫孔雀=牡丹花瓶(一対)》
明治時代前期(19世紀後期)
田邊哲人コレクション(神奈川県立歴史博物館寄託)

第3章 華麗な釉下彩・釉彩の展開

《釉下彩紫陽花団花瓶》
明治30年(1897)
田邊哲人コレクション(神奈川県立歴史博物館寄託)



《釉裏紅赤雲龍文花瓶》
明治時代中期(19世紀後期)
田邊哲人コレクション



《青釉船形花瓶》
明治時代中期~後期(19世紀後期~20世紀初期)
田邊哲人コレクション



瀬戸市美術館

Seto City Art Museum

〒489-0884 愛知県瀬戸市西沢町113-3
TEL 0561-84-1093 / FAX 0561-85-0415
E-mail art@city.seto.lg.jp
URL <http://www.seto-cul.jp/>

- 名古屋駅から(所要時間約1時間)
地下鉄東山線で「栄」へ、名鉄瀬戸線に乗り換え「栄町」から「瀬戸」下車、徒歩13分。
- 名古屋I.C. 長久手I.C.から(所要時間約30分)
東名高速道路「名古屋I.C.」「長久手I.C.」を降りて瀬戸方面へ。
グリーンロード「愛-海陸博記念公園」、または「八草I.C.」まで行き、左折(北)し、瀬戸市街地へ。
- せと赤津I.C.から(所要時間約10分)
東海環状自動車道「せと赤津I.C.」を降りて瀬戸方面へ。